

(3) 令和元年度「継続協議」となった医療機関（再編統合を検討）の協議結果

【凡例】公立：新公立病院改革プラン対象病院、公的1：公的プラン対象病院（民間の地域医療支援病院、特定機能病院除く）、公的2：公的プラン対象病院（民間の地域医療支援病院、特定機能病院）、民間等：公立、公的1、公的2以外の病院口

二次医療圏	市町村	区分	医療機関名	令和元年度病院プラン (2025年に向けた方向性 概要)	令和元年度 地域医療構想調整会議 における意見	令和2年度病院プラン															令和2年度 地域医療構想調整会議 協議結果						
						現状の病床数[A]						2025年に予定している 病床数[B]					2025年と現状との差 【B】-【A】					2025年に向けた 各病院の方向性					
						合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	非稼働	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	非稼働	合計	高度急性期	急性期			回復期	慢性期	非稼働		
1	泉州	泉大津市	公立	泉大津市立病院	○泉大津市立病院及び府中病院が地域医療連携推進法人を念頭に統合再編、高度急性期機能を統合した新病院、現泉大津市立病院を小児周産期を専門とした病院、現府中病院を回復期と地域包括ケアの中心とした病院とし、2病院を3病院に再編予定(2023年度以降予定)。	泉大津市立病院と府中病院の再編の方向性について、一定合意するが、新たな病院の医療機能や役割、病床規模について、引き続き協議が必要。	230	6	208	16	0	0	82	6	76	0	0	0						○令和6年4月を予定に病床機能の転換、病床数のダウンサイジングを行い、再編統合予定。 ○高度急性期・急性期機能を集約化した新病院を建設し、当該病院を基軸とする再編・ネットワーク化を図る。 ○3病院でさせていただき、今後事業の検証を重ね、必要があれば合併も含め考えていきたい。(資料1-3)参照	合意 (具体的に示された再編計画について)		
2	泉州	和泉市	公的2	社会医療法人生長会府中病院			380	168	186	26	0	0	167	0	47	120	0	0	▲61	0	▲139	+78	0			0	
泉州	泉大津市	公立	(仮称)新泉大津市立病院	—			—	—	—	—	—	—	300	168	132	0	0	0									
3	大阪市(北部)	東淀川区	民間等	医療法人医誠会 医誠会病院	○2023年4月、医誠会病院と城東中央病院を統合の上、北区扇町へ移転を検討。 【医誠会病院が有する病床の機能変更】 ○急性期(急性期一般1)68床を高度急性期(特定集中治療室・総合周産期特定集中治療室・新生児特定集中治療室)へ転換予定。 ○2023年4月北区扇町へ医誠会病院との統合移転を検討している。 【城東中央病院が有する病床の機能変更】 ○慢性期(障害者10対1)91床を回復期(急性期一般1)へ転換予定。	過剰病床への転換に加え、下記点について、疑義あり継続協議が必要。 ①小児周産期医療体制(NICU等)の整備 ②新病院における医師・看護師等の人材確保 ③将来予定している病床機能のうち「回復期」が入院料と整合性がとれていない	327	30	297	0	0	0	—	—	—	—	—	—								○2023年秋、城東中央病院と統合して、北区扇町に新築移転(560床)の予定。 ○高度急性期98床の現時点での内訳は、ICU12床、SCU12床、HCU20床、CCU12床、NICU6床、GCU12床、MFICU4床、急性期一般1。 (資料1-4)参照	継続協議 (将来の病床機能について昨年度協議時と変更がないため)
4	大阪市(東部)	城東区	民間等	医療法人医誠会 城東中央病院			233	0	115	27	91	0	—	—	—	—	—	0	+68	▲68	+91	▲91	0	0			
大阪市(北部)	北区	民間等	(仮称)医誠会新病院	—			—	—	—	—	—	—	560	98	344	118	0	0									

(4) その他、令和元年度「継続協議」となった医療機関の協議結果

【凡例】公立：新公立病院改革プラン対象病院、公的1：公的プラン対象病院（民間の地域医療支援病院、特定機能病院除く）、公的2：公的プラン対象病院（民間の地域医療支援病院、特定機能病院）、民間等：公立、公的1、公的2以外の病院口

二次医療圏	市町村	区分	医療機関名	令和元年度病院プラン (2025年に向けた方向性 概要)	令和元年度 地域医療構想調整会議 における意見	令和2年度病院プラン															令和2年度 地域医療構想調整会議 協議結果					
						現状の病床数[A]						2025年に予定している 病床数[B]					2025年と現状との差 【B】-【A】					2025年に向けた 各病院の方向性				
						合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	非稼働	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	非稼働	合計	高度急性期	急性期			回復期	慢性期	非稼働	
1	中河内	東大和市	民間等	医療法人恵生会 恵生会病院	○2019年8月、小児科の入院受け入れ開始により、地域包括ケア病棟2(回復期)4床を急性期一般2(急性期)に転換。 ○今後、消化器内科や整形外科の強化のため、地域包括ケア病棟2(回復期)14床を急性期一般2(急性期)に転換を検討中。	病床転換計画の詳細がまとも次第、「保健医療協議会等において協議が必要」と文章による通知が必要。	184	0	82	54	48	0	184	0	68	68	48	0	0	0	▲14	14	0	0	令和2年10月から14床を急性期から回復期に変更。	合意 (転換の見直しのため)
2	中河内	東大和市	民間等	医療法人藤井会 石切生喜病院	○急性期一般4(急性期)161床を高度急性期への転換を検討中(時期未定)。 ※入院料も変更する可能性あり。	病床転換計画の詳細がまとも次第、「保健医療協議会等において協議が必要」と文章による通知が必要。	331	10	321	0	0	0	331	40	291	0	0	0	0	+30	▲30	0	0	○現状病棟・ICU・手術室ともフル稼働で対応している状態であるため、具体的な変更時期及び病床数は未定ながら、一部を高度急性期病床へ変更し、より多くの重症患者・救急患者受入れを行うための体制整備を進めたい。 ○人員配置及び設備整備の目的が立ち次第、順次病床機能を変更していく予定。	継続協議 (転換計画に不確定要素があるため)	
3	南河内	羽曳野市	民間等	医療法人はあとふる 運動器ケアしまだ病院	○地域包括ケア病棟入院料2(回復期)45床を急性期一般入院料1(急性期)45床へ転換を検討中。	大阪府の基本的考え方(「過剰な病床への転換は控えるべき」)を文章により、当該病院に通知することについて、確認。	88	0	43	45	0	0	88	0	43	45	0	0	0	0	0	0	0	0	病床機能の変更なし	合意 (転換の見直しのため)
4	堺市	南区	民間等	医療法人啓仁会 堺咲花病院	○令和2年4月以降、非稼働病床130床と急性期一般入院料7(急性期)80床を、地域包括ケア病棟入院料2(回復期)へ100床、回復期リハビリテーション病棟入院料1(回復期)へ50床、療養病棟入院料2(慢性期)へ60床を転換予定。	従来、急性期であった非稼働病床を慢性期として稼働を検討していること等については、引き続き協議が必要。	310	0	60	120	0	130	310	0	100	150	60	0	0	0	+40	+30	+60	▲130	コロナウイルスの影響により、病床機能の変更時期は現状未定。 今後の情勢に応じて病床機能の変更を検討。	継続協議 (転換計画に不確定要素があるため)
5	大阪市(東部)	生野区	民間等	医療法人吉栄会 吉栄会病院	○回復期(地域一般3)21床を急性期(緩和ケア1)へ転換予定。	病床機能の転換について、近隣病院・地区医師会等に説明の上、同意を得ることが必要。	61	0	0	61	0	0	61	0	0	61	0	0	0	0	0	0	0	0	病床機能の変更なし	合意 (転換の見直しのため)
6	大阪市(南部)	平野区	民間等	医療法人 正和病院	○慢性期(療養)107床のうち、1病棟54床を年内に回復期(地域包括ケア1)へ転換予定。 ○現在、急性期21床、回復期(地域包括ケア病床)30床で1病棟としており、約半年後には混合病棟となっている回復期(地域包括ケア病床)をすべて急性期(急性期一般4)へ転換予定。 ○非稼働病床7床については療養病床から一般病床への変更に伴い、再稼働する。	病床機能の転換について、近隣病院・地区医師会等会に説明の上、同意を得ることが必要。	158	0	21	84	53	0	158	0	39	66	53	0	0	0	+18	▲18	0	0	救急の要請に応じるため、令和3年3月に回復期(地域包括ケア入院医療管理料1)18床を急性期(急性期一般入院料5)へ転換。 急性期(急性期一般入院料5)39床、回復期(地域包括ケア)66床、慢性期(療養病棟入院料)53床とする予定。	合意 (当該病院が地域で担っている役割・機能に則した転換であるため)